

総合振興計画審議会第3回総会後における事務局意見について

資料4

項番	項目	頁数	事務局意見	事務局対応（案）
1	全体	—	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について、表記の仕方が揃っていないため、統一の用例を定めるべきである。	御指摘を踏まえ、正式名称である「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に統一します。
2	全体	—	政令指定都市について、表記の仕方が揃っていないため、統一の用例を定めるべきである。	御指摘を踏まえ、正式略称である「指定都市」に統一します。
3	全体	—	「安心・安全」について、後期基本計画上の用例である「安全・安心」とすべきである。	御指摘を踏まえ、「安全・安心」に統一します。
4	第1部 計画の全体像	6	鉄道路線数の定義がなく、数値根拠に一貫性が保てない。	御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。 「本市には、在来線や私鉄各線等9路線が利用可能な鉄道網や～」⇒ 「本市には、JR・私鉄各線が利用可能な鉄道網や～」
5	第1部 計画の全体像	6	将来都市像であるのに、過去を表現する語句がある。	御指摘を踏まえて、以下のとおり修正します。 「そして、本市が育ててきたこれらの特徴を更に生かし、都市部に住みながらも～」⇒ 「そして、これらの特徴を更に生かし、都市部に住みながらも～」
6	第1部 計画の全体像	目次, 17	節の名称「持続可能な開発目標（SDGs）の採択」について、採択されているのは、SDGsを含むアジェンダであり、また時代潮流を表すものとして、名称を見直すべきである。	御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。 「持続可能な開発目標（SDGs）の採択」⇒「持続可能な開発目標（SDGs）の主流化に向けた動き」
7	第1部 計画の全体像	24	財政指標の内容がわかりづらい。	御指摘を踏まえて、財政状況（3）主要財政指標から見た財政状況を以下のとおり修正します。 平成30（2018）年度決算に基づく主要財政指標を見ると、債務の負担割合を示す実質公債費比率や将来負担比率のほか、標準的な行政需要を市税などの自主財源でどの程度賄っているかを示す財政力指数は良好な水準にあり、健全財政を維持しております。一方で、財政構造の弾力性を判断する指標である経常収支比率は比較的高いことから、今後の財政運営における厳しさが増すおそれがあります。
8	第1部 計画の全体像	32	鉄道路線数の定義がなく、数値根拠に一貫性が保てない。	御指摘を踏まえて、さいたま市の魅力（5）地理的優位性の1段落目を以下のとおり修正します。 本市は、鉄道や高速道路などの広域的な交通網が充実しており、市内33駅の1日の平均乗降客数は190万人を超え、日々多くの人々が往来しています。なかでも北海道・東北・秋田・山形・上越・北陸新幹線を始め、JR・私鉄各線が集結する大宮駅は東日本の交通の要衝であるとともに、全国有数のターミナル駅となっています。

項番	項目	頁数	事務局意見	事務局対応（案）
9	第3部 各分野の政策と施策	67, 68	第3部「各分野の政策と施策」について、構成の見方などの解説があったほうがよい。	御指摘のとおり、第3部の冒頭に構成の解説を掲載します。
10	第3部 各分野の政策と施策 第5部 質の高い都市経営の実現	85, 170, 171	I C TとI C T技術の文言を統一したほうがよい。	御指摘を踏まえて、I C Tに統一します。
11	第5部 質の高い都市経営の実現	目次, 172	節の名称の中の「自主的・自立的な都市」について「自主的な都市」の意味が不明瞭なため修正したほうがよい。	ご指摘を踏まえて、下記のとおり修正しました。 「真の分権社会を担う自主的・自立的な都市の実現」⇒「真の分権社会を担う自主的・自立的な都市経営の実現」
12	第5部 質の高い都市経営の実現	目次, 174	計画の目指すべき方向性は、都市イメージを向上させることであるため、節の名称を適切な文言に修正した方がよい。	御指摘を踏まえて、下記のとおり修正しました。 「さいたま市の特徴を生かした都市の魅力の発信」⇒「さいたま市の特徴を生かした都市イメージの向上」
13	第5部 質の高い都市経営の実現	174	重点戦略等では、2つの優位性と4つの強みをまとめて、「5つの魅力」と定義しているため、文言の統一をした方がよい。	御指摘を踏まえて、記述内容の見直しを検討します。
14	第5部 質の高い都市経営の実現	175	「発信」は手段であり、「訪問したい」というイメージを向上することが目指すべき方向性であるため（成果指標とも合致する）、文言を整理した方がよい。	御指摘を踏まえて、下記のとおり修正しました。 「訪問機会創出のための、地域資源などを生かした魅力の発信」⇒「地域資源などの発信による訪問意向の形成」 「▶環境、スポーツなどの本市の強みや、優位性、伝統産業等の本市の多彩な地域資源と魅力を生かして、訪問機会を創出するとともに、その機会を捉え、市内外に情報発信し、本市への良好なイメージの形成・定着を目指します。」⇒「▶環境、スポーツなどの本市の強みや優位性、伝統産業等の本市の地域資源を編集集約し、市内外に情報発信することで、良好な都市イメージの定着を目指します。」
15	第5部 質の高い都市経営の実現	175	同様、「発信」は手段であり、「住みやすい」というイメージを向上することが目指すべき方向性であるため、文言を整理した方がよい。	御指摘を踏まえて、下記のとおり修正しました。 「ターゲットを絞った「住みやすさ」に資する強みや優位性の発信」⇒「「住みやすさ」の発信による定住意向の形成」 「▶創出した訪問機会や本市の強みや、優位性などに資する事業を捉え、それらを他市との差別化要因として、戦略的にPRし、「住みやすい」というイメージの形成・定着を目指します。」⇒「▶教育都市、交通の利便性などの本市の強みや優位性を魅力と捉え、ターゲットを絞って情報発信することで「住みやすい」という都市イメージの定着を目指します。」